

2025年度 町田市立南大谷小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和7年3月31日

学校教育目標 ○ よく考えて行動する子ども ○ 思いやりのある子ども ○ 明るく元気な子ども ○ 未来を拓く子ども	学校経営の重点 地域・保護者との連携を深め、地域の人材や施設、専門家等の人材を生かし、体験的学習を一層進めることにより学習意欲を伸ばし、主体的に学習に取り組む態度 重点目標の成果と課題
○目指す学校像………教職員・保護者・地域がー丸となって、将来、地域社会や社会の担い手として活躍できる児童を育てる学校 ○目指す児童・生徒像………急速に変化する社会の中で、直面する様々な問題を解決しながら、たくましく、心豊かに生きることができている児童 ○目指す教師像………それぞれが自己啓発を行い能力を高め続け、結束して公教育の使命を果たしながら、地域社会の信頼に応える教師	

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○ %	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価 記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	地域の環境及び人材を生かした体験的活動を企画し、実施する。	特別授業ではなく、教科の授業の中にゲストティーチャーや地域ボランティアを活用する場面を位置付け、積極的に実施する。	4 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施 3 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施 2 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の70%以上を実施 1 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の実施が70%未満			A 学校評価アンケート「A」1「地域連携教育活動」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「A」1「地域連携教育活動」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「A」1「地域連携教育活動」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「A」1「地域連携教育活動」肯定的評価 55%未満						
			学習の成果を、ゲストティーチャーや地域ボランティアに対して発表・伝達する場面を設定し、双方向の交流活動を実施し、学習の目標と成果を明確にする。	4 ガストティーチャーの関わる授業の80%以上で成果の発表・伝達活動を実施 3 ガストティーチャーの関わる授業の70%以上で成果の発表・伝達活動を実施 2 ガストティーチャーの関わる授業の70%以上で成果の発表・伝達活動を実施 1 ガストティーチャーの関わる授業について成果の発表・伝達活動が70%未満			A 学校評価アンケート「A」2「地域との一体化」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「A」2「地域との一体化」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「A」2「地域との一体化」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「A」2「地域との一体化」肯定的評価 55%未満						
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が導く授業改善策を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。とともに、主体的・対話的で深い学びを実現する。	積極的な情報発信と公開を行い、それに対する評価を即時反映しつつ、教育活動を改善していく。	積極的にホームページを更新し、学校の様子を常に発信し続ける。テトルを活用し、学年だより、学級だよりをはじめ、適宜、保護者に必要な情報を正確に発信する。	4 ホームページ週4回以上の更新 3 ホームページ週3回以上の更新 2 ホームページ週2回以上の更新 1 ホームページの更新が週2回未満			A 学校評価アンケート「A」3「情報発信」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「A」3「情報発信」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「A」3「情報発信」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「A」3「情報発信」肯定的評価 55%未満						
			学校全体の授業公開に加え、発表活動や体験型活動など、学年ごとに授業公開の機会を設ける。地域や保護者の評価を受け、教育活動の改善や児童の学習意欲の喚起につなげる。	4 90%以上のクラスで意欲して公開に努めた 3 50%以上のクラスで意欲して公開に努めた 2 70%以上のクラスで意欲して公開に努めた 1 公開に努めたクラスが70%未満			A 学校評価アンケート「A」4「教育活動公開」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「A」4「教育活動公開」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「A」4「教育活動公開」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「A」4「教育活動公開」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	子どもが主体的に学び、教師が導く授業改善策を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。とともに、主体的・対話的で深い学びを実現する。	校内研究を深め「分かれることができる」授業を展開し、児童の学習への興味・関心を高める。	クロームブックや学習ドリルソフトを活用することで、個に応じた指導を徹底し、知識・技能を定着させる。	4 90%以上の授業で意欲して指導した 3 80%以上の授業で意欲して指導した 2 70%以上の授業で意欲して指導した 1 意欲して指導した授業が70%未満			A 学校評価アンケート「A」5「基礎習得・ICT活用」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「A」5「基礎習得・ICT活用」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「A」5「基礎習得・ICT活用」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「A」5「基礎習得・ICT活用」肯定的評価 55%未満						
			授業の中に、学習内容の定着を図る時間、形成の評価ができる時間を設け、常に定着度を評価しつつ、必要に応じて補充的な指導を行う。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 実施した授業が70%未満			A 児童アンケート「勉強がわかる」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「勉強がわかる」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「勉強がわかる」肯定的評価 55%以上 D 児童アンケート「勉強がわかる」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	校内研究・開発を通して、教科教育の専門性を高め、主体的に「学び続ける」子どもを育てる。	単元全体を見通して学習内容の整理を行い、協働的な学習を進め、主体的に学びに向かう姿勢、すずて学習に取り組む態度を育てる。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 取り組んだ学習が80%未満			A 学校評価アンケート「A」2「3」4「学びの姿勢」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「A」2「3」4「学びの姿勢」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「A」2「3」4「学びの姿勢」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「A」2「3」4「学びの姿勢」肯定的評価 55%未満						
	豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	明確な学習目標を設定し、授業の構造化を進める。児童の表現活動の保証、思考を促す板書や教材提示、生活や次の学習に生かせるまとめなど授業の視点を設け、授業改革を進める。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 構造化された授業の実施が70%未満			A 児童アンケート「勉強が楽しい」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「勉強が楽しい」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「勉強が楽しい」肯定的評価 55%以上 D 児童アンケート「勉強が楽しい」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	自分の生命と他者の生命をともに大切にすることを育み、自他ともに向上していくこととする前向きな姿勢を育てる。	思いやりの心地よさを感じさせることを通して、人権を相互に尊重する姿勢を育て、いじめを絶対に見逃さない生活指導を行う。	4 いじめ防止に関連する授業を月に1回以上指導実施 3 いじめ防止に関連する授業を学期に2回以上指導実施 2 いじめ防止に関連する授業を年に3回以上指導実施 1 いじめ防止に関連する授業が年に2回以上実施			A 学校評価アンケート「A」1「いじめ・体罰防止」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「A」1「いじめ・体罰防止」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「A」1「いじめ・体罰防止」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「A」1「いじめ・体罰防止」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	自分の生命と他者の生命をともに大切にすることを育み、自他ともに向上していくこととする前向きな姿勢を育てる。	道徳科の授業では児童の道徳的資質を高める。振り返りの時間を生かして、認め合い、高め合い、助け合う校内風土を定着させていく。	4 90%以上の道徳授業で指導実施 3 80%以上の道徳授業で指導実施 2 70%以上の道徳授業で指導実施 1 振り返りの実施が70%未満			A 児童アンケート「学校が楽しい」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「学校が楽しい」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「学校が楽しい」肯定的評価 55%以上 D 児童アンケート「学校が楽しい」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	自分の生命と他者の生命をともに大切にすることを育み、自他ともに向上していくこととする前向きな姿勢を育てる。	きょうだい班活動、委員会、クラブなど、子どもの主体的な活動を保証し、活動後の振り返りや感想の交流など、それぞれの有用感を高める活動を取り入れる。	4 90%以上の指導場面で実施 3 90%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 振り返りの指導場面で70%未満			A 児童アンケート「学校で満足」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「学校で満足」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「学校で満足」肯定的評価 55%以上 D 児童アンケート「学校で満足」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	自分の生命と他者の生命をともに大切にすることを育み、自他ともに向上していくこととする前向きな姿勢を育てる。	全校でボランティア活動に取り組む縦組プロジェクトを柱とし、各学年でボランティア的な活動を実施し、お互いに啓発し合う場面を設ける。	4 90%以上の学年級が取り組んだ 3 80%以上の学年級が取り組んだ 2 70%以上の学年級が取り組んだ 1 取り組んだ学年級が70%未満			A 児童アンケート「クラスでは自分の意見が言える」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「クラスでは自分の意見が言える」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「クラスでは自分の意見が言える」肯定的評価 55%以上 D 児童アンケート「クラスでは自分の意見が言える」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	自分の生命と他者の生命をともに大切にすることを育み、自他ともに向上していくこととする前向きな姿勢を育てる。	体力テストの結果分析を生かした体育科の授業や縄跳び集会など体力向上の習慣を定着させる企画を実施し、運動の日常化を行う。	4 90%以上の体育の授業で実施 3 80%以上の体育の授業で実施 2 70%以上の体育の授業で実施 1 70%未満			A 学校評価アンケート「E」1「運動習慣」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「E」1「運動習慣」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「E」1「運動習慣」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「E」1「運動習慣」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	自分の生命と他者の生命をともに大切にすることを育み、自他ともに向上していくこととする前向きな姿勢を育てる。	栄養士と連携し、給食のメニューを工夫するとともに、その日の給食について栄養面や食文化について、児童に知らせ食育や健康について考えさせる。	4 90%以上の給食で実施 3 80%以上の給食で実施 2 70%以上の給食で実施 1 食育を意識した給食の実施が70%未満			A 学校評価アンケート「E」2「食習慣・生活習慣」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「E」2「食習慣・生活習慣」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「E」2「食習慣・生活習慣」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「E」2「食習慣・生活習慣」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	自分の生命と他者の生命をともに大切にすることを育み、自他ともに向上していくこととする前向きな姿勢を育てる。	遊びのルール、廊下・階段の歩行など約束を守る生活習慣を授業に身に付けさせる。	4 90%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 70%未満の指導場面で実施			A 学校評価アンケート「E」2「3」4「規範意識や挨拶」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「E」2「3」4「規範意識や挨拶」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「E」2「3」4「規範意識や挨拶」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「E」2「3」4「規範意識や挨拶」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	自分の生命と他者の生命をともに大切にすることを育み、自他ともに向上していくこととする前向きな姿勢を育てる。	遊びのルール、廊下・階段の歩行など約束を守る生活習慣を授業に身に付けさせる。	4 90%以上の必要情報に対して実施 3 80%以上の必要情報に対して実施 2 70%以上の必要情報に対して実施 1 必要情報の共有が70%未満			A 学校評価アンケート「E」4「児童の安全意識」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「E」4「児童の安全意識」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「E」4「児童の安全意識」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「E」4「児童の安全意識」肯定的評価 55%未満						
豊かな心	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・態度を育てる。	自分の生命と他者の生命をともに大切にすることを育み、自他ともに向上していくこととする前向きな姿勢を育てる。	危機管理情報(健康・問題行動・安全等)を即時学校内で共有し、全校体制で対応するとともに、児童への安全教育を充実させる。	4 小中が連携した教育活動を年に3回以上実施 3 小中が連携した教育活動を年に2回以上実施 2 小中が連携した教育活動を年に1回以上実施 1 小中が連携した教育活動の実施が年に1回未満			A 学校評価アンケート「E」4「小中連携」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート「E」4「小中連携」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート「E」4「小中連携」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート「E」4「小中連携」肯定的評価 55%未満						

取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)

取組指標平均 3.5以上	⇒ 評価A
取組指標平均 3以上3.5未満	⇒ 評価B
取組指標平均 2以上3未満	⇒ 評価C
取組指標平均 2未満	⇒ 評価D

成果指標評価基準

成果指標平均 80%以上⇒評価A
成果指標平均 70%以上⇒評価B
成果指標平均 55%以上⇒評価C
成果指標平均 55%未満⇒評価D

学校関係者評価の評価基準例

A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる
B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒ 目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D⇒ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※ 学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で
成果と課題、改善点について協議する。

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。